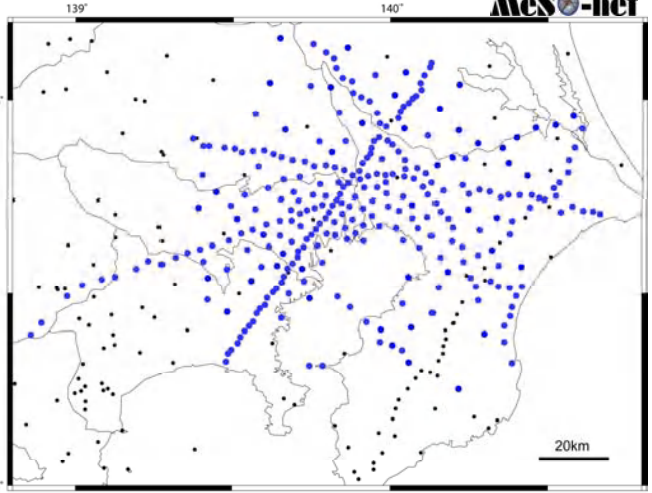


4. 首都圏地震観測網

MeSO-net: Metropolitan Seismic Observation network

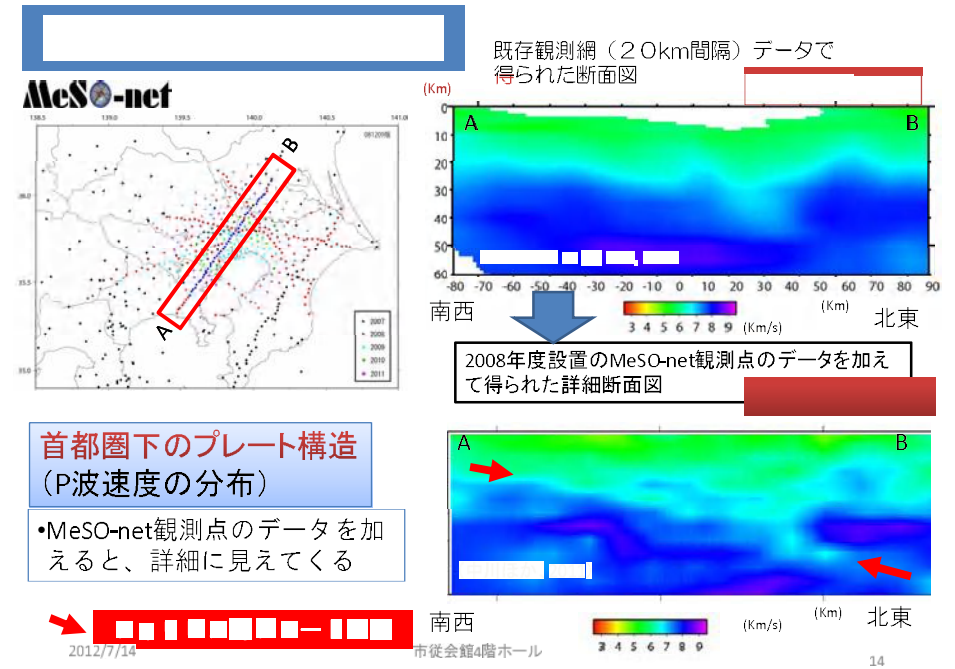
- 明治以降の5つのM7級地震はどこで?
- プレートの構造?



296か所の地震観測点
2012/7/14

市従会館4階ホール

13



首都圏下のプレート構造 (P波速度の分布)

- MeSO-net観測点のデータを加えると、詳細に見えてくる

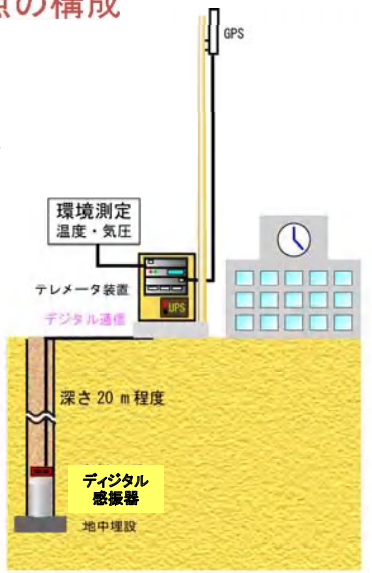
2012/7/14

市従会館4階ホール

14

地震観測点の構成

- 20mの掘削を行い、地震計, AD変換器を埋設(観測孔)
- 地上部は機器収納箱を設置し、電柱に電気+通信線を引き込む



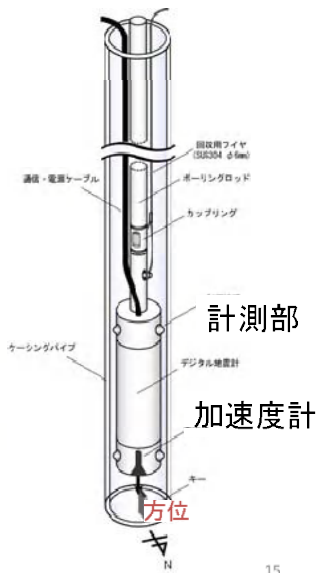
MeSO-net

2012/7/14

市従会館4階ホール

15

デジタル感振器



小学校での出前事業風景



2012/7/14

市従会館4階ホール

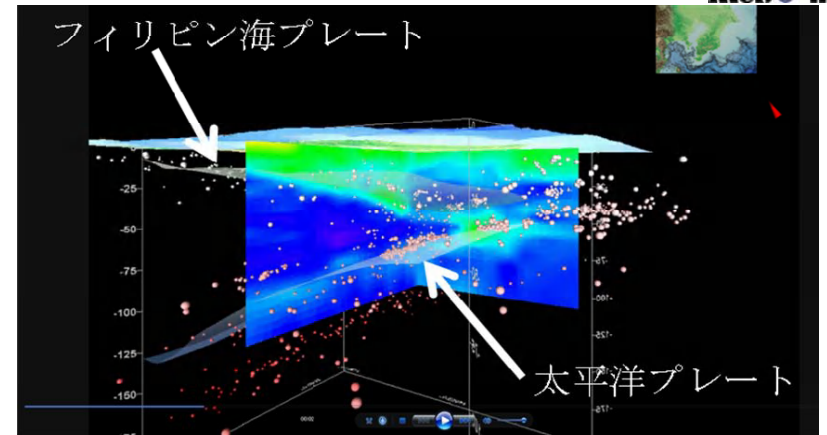
MeSO-net

16

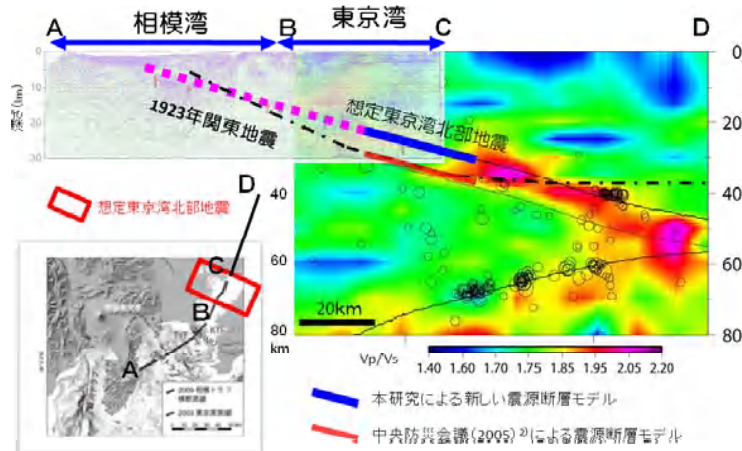
東京湾第二海堡観測点



関東の下の地震の分布とプレート境界の位置



中央防災会議(2005)の想定地震震源断層と、本研究による新しい震源断層モデル



5. 東京都の新たな被害想定について (2012年4月) ~首都直下地震等による東京の被害想定~

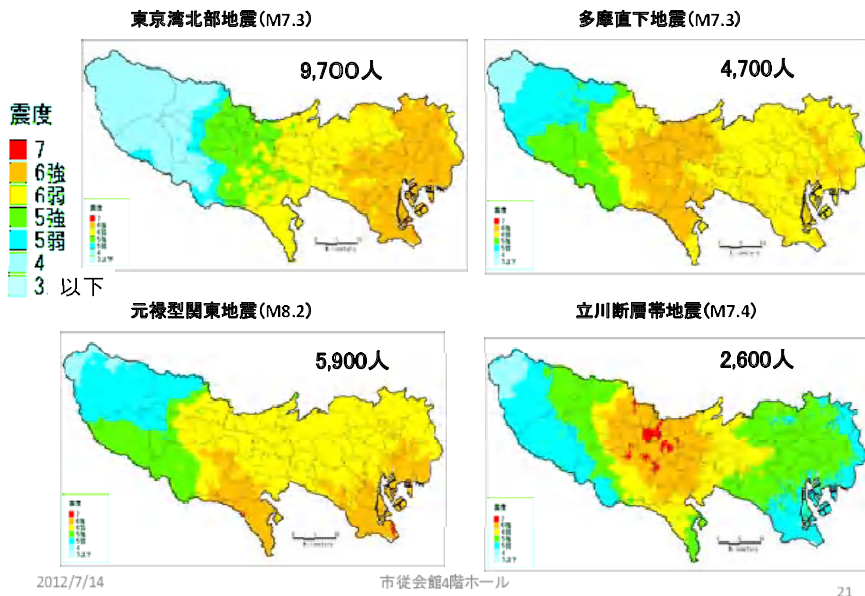
東日本大震災を踏まえ、現行の被害想定を見直し

- ◆ 客観的なデータや科学的な裏付けに基づき、より実態に即した被害想定へと全面的に見直し (地震モデル、火災の想定手法の改良など)

再検証 ▶【首都直下地震】	東京湾北部地震 (M7.3) 多摩直下地震 (M7.3)	首都直下地震防災・減災特別プロジェクトの研究成果を反映し、最新のモデルで検証
追加 ▶【海溝型地震】	元禄型関東地震 (M8.2)	大規模海溝型地震の検証
追加 ▶【活断層で発生する地震】	立川断層帯地震 (M7.4)	地下の浅い部分で発生する地震の検証

- ◆ フィリピン海プレート上面の深度が、従来の想定より浅いという最新の知見を反映 → 震源が浅くなるため、従来の想定より震度が大
- ◆ 津波による被害想定を実施 → 過去の記録等で、都内に最も大きな津波をもたらしたとされる元禄関東地震(1703年)をモデルとして検証

被害想定に基づく震度分布予測

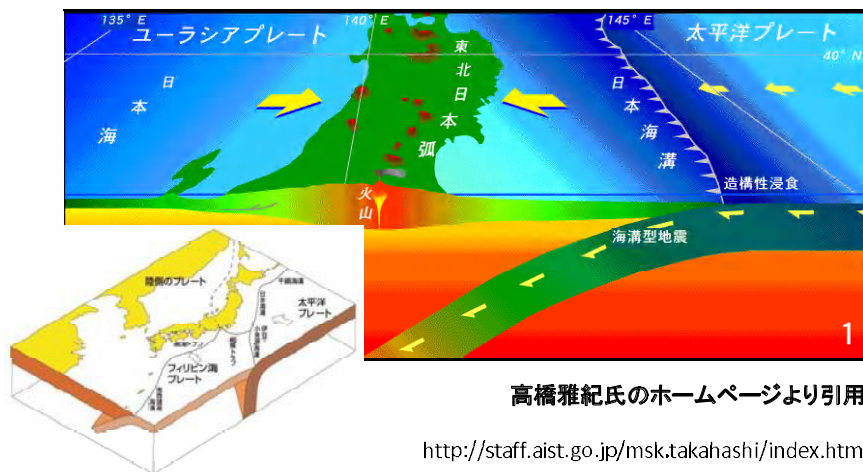


6. 2011年東北地方太平洋沖地震の首都圏への影響



プレート境界地震 プレート境界は、巨大な断層

(概念図)



観測データによる日本列島の変形

